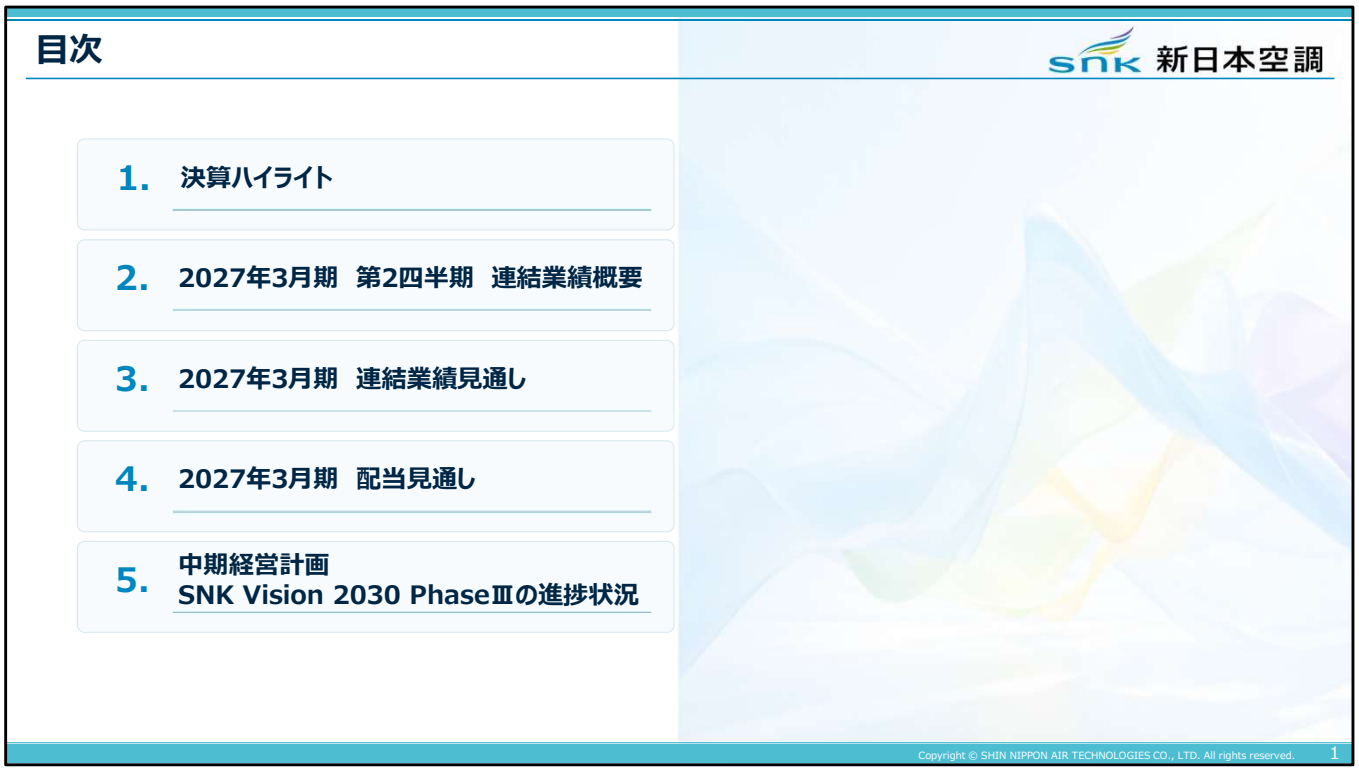
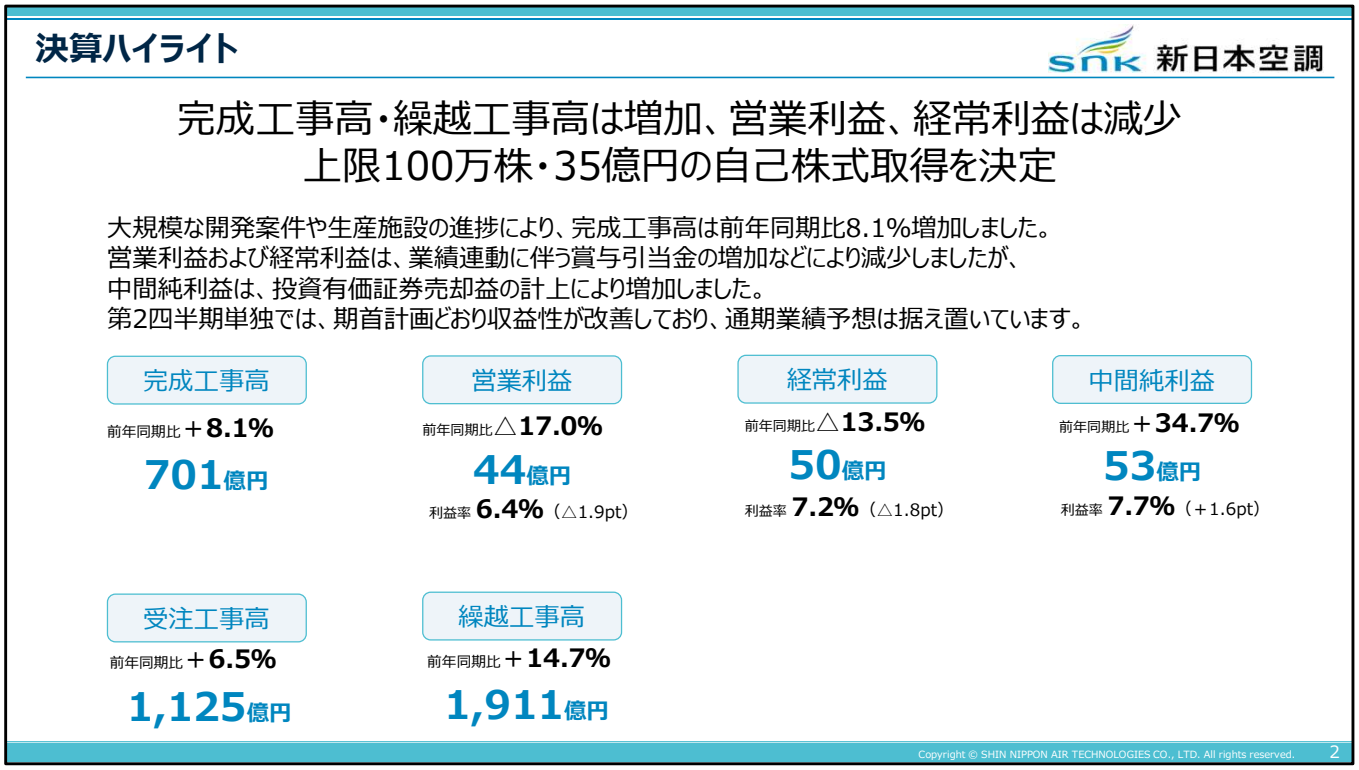


皆様、本日は 2027 年 3 月期第 2 四半期決算説明会にご参加いただき、
誠にありがとうございます。



本日は、こちらの目次に沿ってご説明します。はじめに決算ハイライトを
ご説明し、続いて第 2 四半期の連結業績概要と通期の連結業績見通しを
ご説明します。
そして、配当見通しと最後に中期経営計画「SNK Vision 2030 PhaseⅢ」の
進捗状況をご説明します。



今回、第 2 四半期決算において特にお伝えしたいポイントは三点となります。
一つ目は、大規模な開発や生産施設等の案件が順調に進捗し、完成工事高は 701 億円、前年同期比 8.1％増加しました。
また、受注工事高は 1,125 億円、繰越工事高は 1,911 億円となり、受注と将来の売上基盤も拡大しています。
一方で、業績連動に伴う賞与引当金の増加などにより、営業利益は 44 億円、経常利益は 50 億円となり、前年同期を下回りました。
２つ目は、第 2 四半期単独では、期首計画どおり収益性が改善しており、通期業績予想は据え置いています。また、投資有価証券売却益の計上により、親会社株主に帰属する中間純利益は 53 億円、前年同期比 34.7％増となりました。
3 つ目は、株主還元の拡充と資本効率の向上を目的に、100 万株・35 億円をそれぞれ上限とする自己株式取得を決定しました。



それでは、ここからの決算内容につきましては、AI 音声によるナレーションでご説明いたします。ぜひ最後までご覧ください。

2027年3月期 第2四半期　連結業績概要

新日本空調

連結業績サマリー

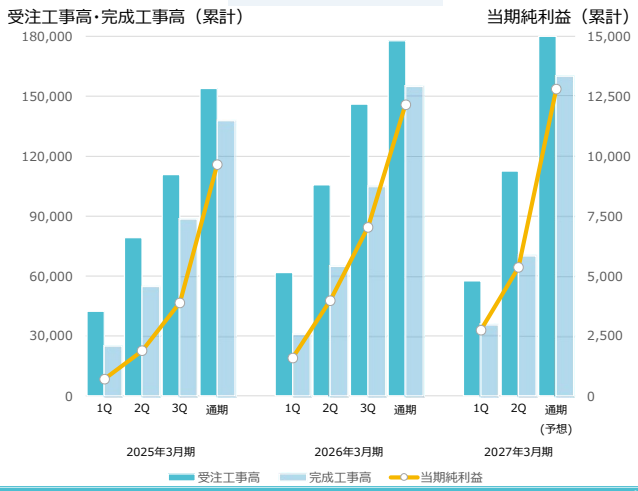
【受注工事高】大規模開発案件や半導体関連をはじめとする生産施設の受注に加え、リニューアル工事も堅調に推移し、前年同期を上回りました。
【完成工事高】豊富な繰越工事を背景に、大規模な新築工事とリニューアル工事が順調に進捗し、前年同期を上回りました。
【利　益】　業績連動に伴う賞与引当金の増加などにより、完成工事総利益、営業利益および経常利益は前年同期を下回りました。
一方、投資有価証券売却益の計上により、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期を上回りました。
【繰越工事高】大規模な新築工事やリニューアル工事の受注が積み上がり、前年同期比14.7%増加しました。

（百万円）

	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	**2027年3月期 第2四半期**	前年同期比 増減	前年同期比 増減率
受注工事高	79,238	105,626	**112,520**	6,894	6.5%
完成工事高	54,773	64,858	**70,118**	5,260	8.1%
完成工事総利益	7,314	10,862	**10,627**	△235	△2.2%
利益率	13.4%	16.7%	**15.2%**	△1.5pt	—
営業利益	2,490	5,380	**4,464**	△915	△17.0%
利益率	4.5%	8.3%	**6.4%**	△1.9pt	—
経常利益	2,862	5,825	**5,038**	△787	△13.5%
利益率	5.2%	9.0%	**7.2%**	△1.8pt	—
中間純利益※	1,876	3,983	**5,365**	1,382	34.7%
利益率	3.4%	6.1%	**7.7%**	1.6pt	—
繰越工事高	134,127	166,636	**191,149**	24,512	14.7%

※中間純利益は、親会社株主に帰属するものを示しています。

連結業績の推移（累計）



Copyright © SHIN NIPPON AIR TECHNOLOGIES CO., LTD. All rights reserved.

2027 年 3 月期第 2 四半期の連結業績について、全体像と主な増減要因をご説明します。
受注工事高は 1,125 億円、前年同期比 6.5%増となりました。大規模開発案件や半導体関連をはじめとする生産施設の受注に加え、リニューアル工事も堅調に推移しました。
完成工事高は 701 億円、前年同期比 8.1%増となりました。豊富な繰越工事を背景に、大規模な新築工事とリニューアル工事が順調に進捗しました。
完成工事総利益は 106 億円、完成工事総利益率は 15.2%となりました。
営業利益は 44 億円、経常利益は 50 億円となり、業績連動に伴う賞与引当金の増加などにより前年同期を下回りました。
一方、投資有価証券売却益の計上により、親会社株主に帰属する中間純利益は 53 億円、前年同期比 34.7%増となりました。
繰越工事高は 1,911 億円、前年同期比 14.7%増となりました。
大規模な新築工事やリニューアル工事の受注が積み上がり、下期以降の売上基盤が拡大しています。

2027年3月期 第2四半期　連結業績概要

新日本空調

2027年3月期 連結業績の進捗（上期実績･通期予想）

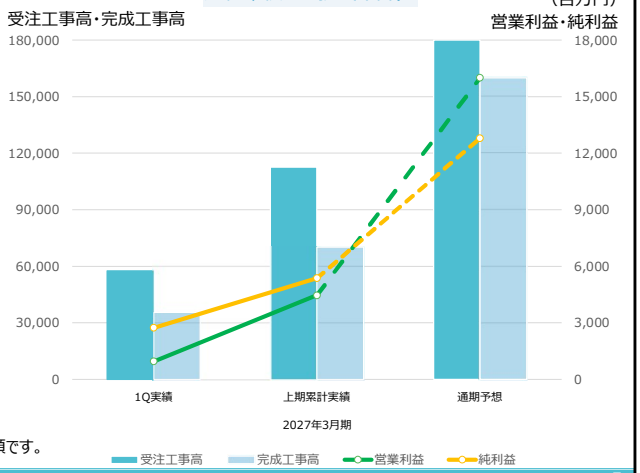
【受注工事高】リニューアル工事の安定受注に加え、大規模開発案件や半導体関連をはじめとする生産施設の受注機会を着実に捉え、通期計画の達成を目指します。
【完成工事高】半導体関連の生産施設やデータセンター、大規模開発案件が完成工事高に寄与し、リニューアル工事も堅調に推移しました。
【利　益】　第2四半期単独の完成工事総利益率は19.2%（第1四半期11.3%）、営業利益率は10.1%（同2.7%）まで改善しました。
上期累計では業績連動に伴う賞与引当金の増加などが影響したものの、下期は完成工事高の増加と収益性の改善を見込んでいます。
【繰越工事高】大規模開発や半導体関連施設、原子力関連施設を中心に、豊富な繰越工事量を確保しています。

（百万円）

	2027年3月期 第1四半期単独	2027年3月期 第2四半期単独	2027年3月期 上期累計実績	2027年3月期 下期予想	2027年3月期 通期予想
受注工事高	57,563	**54,957**	**112,520**	67,479	180,000
完成工事高	35,513	**34,605**	**70,118**	89,881	160,000
完成工事総利益	3,997	**6,630**	**10,627**	18,372	29,000
利益率	11.3%	**19.2%**	**15.2%**	20.4%	18.1%
営業利益	955	**3,508**	**4,464**	11,535	16,000
利益率	2.7%	**10.1%**	**6.4%**	12.8%	10.0%
経常利益	1,461	**3,576**	**5,038**	11,461	16,500
利益率	4.1%	**10.3%**	**7.2%**	12.8%	10.3%
純利益※	2,739	**2,626**	**5,365**	7,434	12,800
利益率	7.7%	**7.6%**	**7.7%**	8.3%	8.0%
繰越工事高	170,796	—	**191,149**	—	168,747

※純利益は、親会社株主に帰属する四半期･中間･当期純利益です。繰越工事高は各期末時点の金額です。

連結業績の進捗（累計）



Copyright © SHIN NIPPON AIR TECHNOLOGIES CO., LTD. All rights reserved.

こちらは、第 1 四半期と第 2 四半期のそれぞれ単独の実績、上期累計実績、
下期予想および通期予想を比較したものです。
第 2 四半期単独の完成工事高は 346 億円、完成工事総利益は 66 億円となりました。
完成工事総利益率は、第 1 四半期の 11.3%から第 2 四半期には 19.2%へ、
営業利益率は2.7%から 10.1%へ改善しました。
上期累計では業績連動に伴う賞与引当金の増加などが影響しましたが、
下期は完成工事高 898 億円、完成工事総利益 183 億円、営業利益 115 億円を
見込んでいます。
半導体関連の生産施設、データセンター、大規模開発案件などの進捗に加え、
リニューアル工事を着実に進め、通期業績予想の達成を目指します。

2027年3月期 第2四半期　連結業績概要

新日本空調

2027年3月期 連結業績推移比較

上期は、業績連動賞与に係る費用が前年同期比13.3億円増加し、営業利益の減少要因となりました。
第2四半期単独では完成工事総利益率が改善しており、下期についても完成工事高の増加による収益拡大を見込んでいます。

（百万円）

	2026年3月期					2027年3月期				
	2026年3月期 第1四半期単独	2026年3月期 第2四半期単独	2026年3月期 上期累計実績	2026年3月期 下期実績	通期実績	2027年3月期 第1四半期単独	2027年3月期 第2四半期単独	2027年3月期 上期累計実績	2027年3月期 下期予想	通期予想
受注工事高	61,710	43,916	105,626	72,135	177,762	57,563	**54,957**	**112,520**	67,479	180,000
完成工事高	30,632	34,226	64,858	90,025	154,884	35,513	**34,605**	**70,118**	89,881	160,000
完成工事総利益	4,606	6,256	10,862	16,327	27,190	3,997	**6,630**	**10,627**	18,372	29,000
利益率	15.0%	18.3%	16.7%	18.1%	17.6%	11.3%	**19.2%**	**15.2%**	20.4%	18.1%
営業利益	1,973	3,406	5,380	9,748	15,128	955	**3,508**	**4,464**	11,535	16,000
利益率	6.4%	10.0%	8.3%	10.8%	9.8%	2.7%	**10.1%**	**6.4%**	12.8%	10.0%
経常利益	2,363	3,462	5,825	10,056	15,881	1,461	**3,576**	**5,038**	11,461	16,500
利益率	7.7%	10.1%	9.0%	11.2%	10.3%	4.1%	**10.3%**	**7.2%**	12.8%	10.3%
純利益※	1,579	2,403	3,983	8,171	12,154	2,739	**2,626**	**5,365**	7,434	12,800
利益率	5.2%	7.0%	6.1%	9.1%	7.8%	7.7%	**7.6%**	**7.7%**	8.3%	8.0%
繰越工事高	156,946	—	166,636	—	148,747	170,796	—	**191,149**	—	168,747

※純利益は、親会社株主に帰属する四半期・中間・当期純利益です。繰越工事高は各期末時点の金額です。

Copyright © SHIN NIPPON AIR TECHNOLOGIES CO., LTD. All rights reserved.

こちらは、前期と今期の上期・下期構成を比較したものです。
今期上期は、完成工事高が前年同期比 8.1%増加した一方、業績連動に伴う賞与引当金が前年同期比 13.3 億円増加し、営業利益の減少要因となりました。
第 2 四半期単独では完成工事総利益率が改善しています。
下期は、豊富な繰越工事を完成工事高へ着実につなげ、収益拡大を図ります。

2027年3月期 第2四半期　連結業績概要

新日本空調

連結貸借対照表

【資産】　現金預金が増加した一方、完成工事未収入金などの売上債権が減少しました。流動比率は251.4%となりました。

【負債】　支払手形・工事未払金や未払法人税等の減少により、負債合計は前期末を下回りました。

【純資産】　利益剰余金が増加した一方、その他有価証券評価差額金は減少しました。

（百万円）

資産の部	2026年3月期 期末	**2027年3月期 第2四半期末**	増減	負債・純資産の部	2026年3月期 期末	**2027年3月期 第2四半期末**	増減
現金預金	23,336	**28,585**	5,248	支払手形・工事未払金	27,686	**21,846**	△5,840
受取手形・完成工事未収入金等	66,282	**46,428**	△19,854	短期借入金	2,416	**1,366**	△1,050
その他	10,196	**13,765**	3,569	その他	19,401	**12,102**	△7,298
流動資産合計	99,815	**88,779**	△11,036	流動負債合計	49,504	**35,315**	△14,188
有形固定資産	2,615	**3,643**	1,027	固定負債合計	3,217	**3,745**	527
無形固定資産	1,579	**1,446**	△132	負債合計	52,721	**39,060**	△13,660
投資その他の資産	31,381	**29,267**	△2,113	株主資本	66,829	**69,371**	2,542
（投資有価証券）	(29,572)	**(27,450)**	(△2,121)	その他	15,840	**14,704**	△1,136
固定資産合計	35,576	**34,357**	△1,218	純資産合計	82,669	**84,075**	1,405
資産合計	135,391	**123,136**	△12,254	負債純資産合計	135,391	**123,136**	△12,254

Copyright © SHIN NIPPON AIR TECHNOLOGIES CO., LTD. All rights reserved.

次に、連結貸借対照表です。
資産合計は 1,231 億円となり、前期末から 122 億円減少しました。
現金預金が増加した一方、工事代金の回収により、受取手形・完成工事未収入金等が 198 億円減少しました。
負債合計は 390 億円となり、支払手形・工事未払金や未払法人税等の減少により、前期末から 136 億円減少しました。
純資産合計は 840 億円となり、利益剰余金が増加した一方、その他有価証券評価差額金が減少した結果、前期末から 14 億円増加しました。

2027年3月期 第2四半期　連結業績概要

新日本空調

連結キャッシュ・フロー

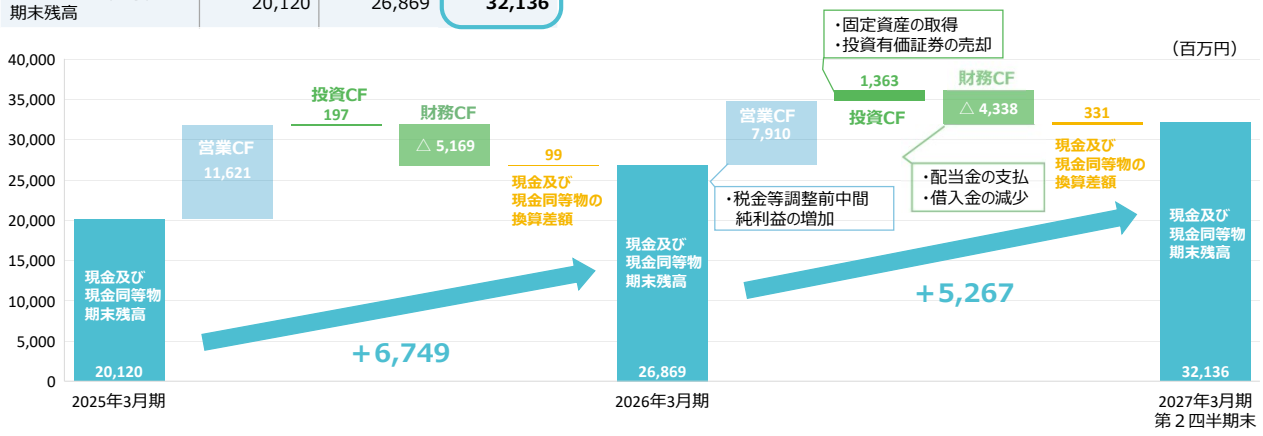
（百万円）

	2025年3月期	2026年3月期	**2027年3月期 第2四半期**
営業活動によるCF	14,238	11,621	**7,910**
投資活動によるCF	2,048	197	**1,363**
財務活動によるCF	△10,184	△5,169	**△4,338**
現金及び現金同等物の期末残高	20,120	26,869	**32,136**

【営業CF】本業収益の積み上げにより、7,910百万円のプラスとなりました。

【投資CF】将来の成長に向けた事業基盤への投資を継続した一方、投資有価証券の売却収入などにより、1,363百万円のプラスとなりました。

【財務CF】配当金の支払を中心とした株主還元の実施および借入金の圧縮により、4,338百万円のマイナスとなりました。



Copyright © SHIN NIPPON AIR TECHNOLOGIES CO., LTD. All rights reserved.

次に、連結キャッシュ・フローです。
営業活動によるキャッシュ・フローは、本業収益の積み上げにより
79 億円のプラスとなりました。
投資活動によるキャッシュ・フローは、将来成長に向けた事業基盤への投資を
継続した一方、投資有価証券の売却収入などにより13 億円のプラスとなりました。
財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いを中心とする株主還元と
借入金の圧縮により、43 億円のマイナスとなりました。
その結果、現金及び現金同等物の第 2 四半期末残高は 321 億円となり、前期末から
52 億円増加しました。
成長投資と株主還元を支える財務基盤は、引き続き健全な水準にあります。

2027年3月期 第2四半期　連結業績概要

新日本空調

受注工事高

【個別】　リニューアル工事の堅調な受注に加え、大規模開発案件や半導体関連をはじめとする生産施設の受注が寄与し、前年同期比6.6%増加しました。
原子力関連工事についても、計画に沿った受注を確保しました。

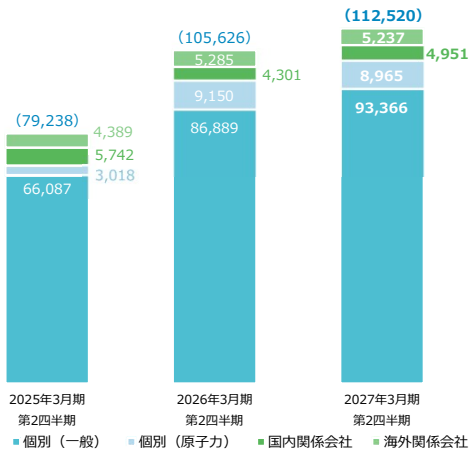
【関係会社】　国内では、生産施設や既存顧客向け工事の受注が寄与し、前年同期比15.1%増加しました。
海外では、生産施設やデータセンター関連工事などを受注したものの、前年同期比0.9%減となりました。

（百万円）

	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	**2027年3月期 第2四半期**	前年同期比	構成比
個別受注工事高	69,106	96,040	**102,331**	6.6%	90.9%
（うち 原子力）	3,018	9,150	**8,965**	△2.0%	8.0%
関係会社受注工事高	10,131	9,586	**10,188**	6.3%	9.1%
国内	5,742	4,301	**4,951**	15.1%	4.4%
海外	4,389	5,285	**5,237**	△0.9%	4.7%
連結受注工事高	79,238	105,626	**112,520**	6.5%	100.0%

受注工事高の推移

（百万円）



Copyright © SHIN NIPPON AIR TECHNOLOGIES CO., LTD. All rights reserved.

次に、受注工事高です。
連結受注工事高は 1,125 億円、前年同期比 6.5％増となりました。
個別受注工事高は 1,023 億円、前年同期比 6.6％増となりました。
リニューアル工事の堅調な受注に加え、大規模開発案件や半導体関連をはじめとする生産施設の受注が寄与しました。原子力関連工事も計画に沿った受注を確保しています。
関係会社受注工事高は 101 億円、前年同期比 6.3％増となりました。
国内は生産施設や既存顧客向け工事により 15.1％増加し、海外は生産施設やデータセンター関連工事などを受注したものの、0.9％減少しました。

2027年3月期 第2四半期　連結業績概要

新日本空調

受注工事高内訳

【新築・リニューアル工事比率】
新築工事は、前年同期に大規模開発案件の受注が集中した反動により、前年同期比10.7%減少しました。一方、リニューアル工事は、既存施設の改修・更新需要を着実に取り込み、同19.1%増加しました。

【保健・産業分野比率】
保健分野は、前年同期の大規模案件受注の反動により、前年同期比24.4%減少しました。一方、産業分野は、半導体関連をはじめとする生産施設などの受注が寄与し、同50.4%増加しました。

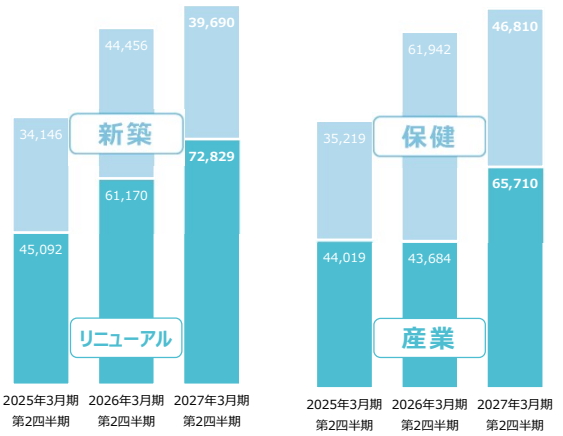
（百万円）

	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	**2027年3月期 第2四半期**	前年同期比	構成比
連結受注工事高	79,238	105,626	**112,520**	6.5%	100.0%
新築工事	34,146	44,456	**39,690**	△10.7%	35.3%
リニューアル工事	45,092	61,170	**72,829**	19.1%	64.7%
保健分野※	35,219	61,942	**46,810**	△24.4%	41.6%
産業分野※	44,019	43,684	**65,710**	50.4%	58.4%

※保健分野は、オフィスビル、商業施設、病院、学校などにおける人の快適性を支える設備、
産業分野は、工場、データセンター、原子力施設などにおける生産・稼働を支える設備として区分しています。

受注工事高の工事区分・分野別内訳

（百万円）



Copyright © SHIN NIPPON AIR TECHNOLOGIES CO., LTD. All rights reserved.

こちらは、受注工事高の工事区分・分野別の内訳です。
新築工事は 396 億円、前年同期比 10.7%減となりました。前年同期に大規模開発案件の受注が集中した反動によるものです。
一方、リニューアル工事は 728 億円、前年同期比 19.1%増となり、構成比は 64.7%となりました。
保健分野は、前年同期の大規模案件受注の反動により 24.4%減少しました。
一方、産業分野は、半導体関連をはじめとする生産施設などの受注により 50.4%増加し、構成比は 58.4%となりました。
受注の伸びを、リニューアル工事と産業分野が牽引しています。

2027年3月期 第2四半期　連結業績概要

新日本空調

完成工事高

【個別】　大規模開発案件や半導体関連をはじめとする生産施設、データセンターなどの工事が順調に進捗しました。
リニューアル工事も着実に進捗し、完成工事高は前年同期比3.6%増加しました。

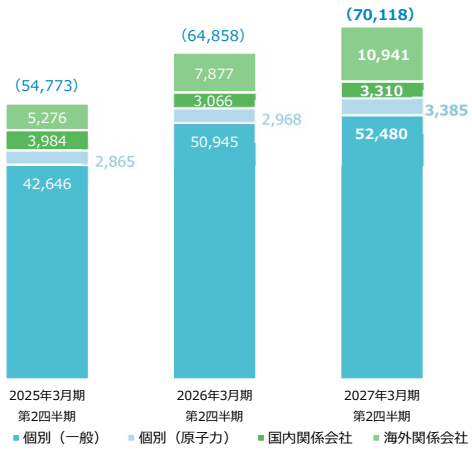
【関係会社】　国内では、工事が計画に沿って進捗し、完成工事高は前年同期比8.0%増加しました。
海外では、大規模案件の工事進捗が寄与し、完成工事高は同38.9%増加しました。

（百万円）

	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	**2027年3月期 第2四半期**	前年同期比	構成比
個別完成工事高	45,511	53,914	**55,866**	3.6%	79.7%
（うち 原子力）	2,865	2,968	**3,385**	14.0%	4.8%
関係会社完成工事高	9,261	10,944	**14,252**	30.2%	20.3%
国内	3,984	3,066	**3,310**	8.0%	4.7%
海外	5,276	7,877	**10,941**	38.9%	15.6%
連結完成工事高	54,773	64,858	**70,118**	8.1%	100.0%

完成工事高の推移

（百万円）



Copyright © SHIN NIPPON AIR TECHNOLOGIES CO., LTD. All rights reserved.

次に、完成工事高です。
連結完成工事高は 701 億円、前年同期比 8.1％増となりました。
個別完成工事高は、558 億円、前年同期比 3.6％増となりました。
大規模開発案件、半導体関連をはじめとする生産施設、データセンターなどの工事が順調に進捗し、リニューアル工事も着実に進捗しました。
関係会社完成工事高は 142 億円、前年同期比 30.2％増となりました。
国内は計画に沿った工事進捗により 8.0％増加し、海外は大規模案件の進捗が寄与して 38.9％増加しました。

2027年3月期 第2四半期　連結業績概要

新日本空調

完成工事高内訳

【新築・リニューアル工事比率】
新築工事は、大規模開発案件や半導体関連をはじめとする生産施設、
データセンターなどの工事が進捗し、前年同期比9.9%増加しました。
リニューアル工事は、既存施設の改修・更新工事が着実に進捗し、
同6.5%増加しました。

【保健・産業分野比率】
保健分野は、大規模開発案件や既存施設の改修・更新工事が進捗し、
前年同期比11.6%増加しました。
産業分野は、半導体関連をはじめとする生産施設やデータセンターなどの
工事が進捗し、同5.9%増加しました。

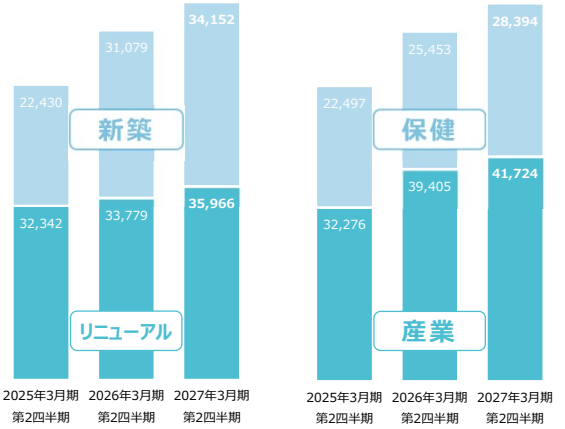
（百万円）

	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	**2027年3月期 第2四半期**	前年同期比	構成比
連結完成工事高	54,773	64,858	**70,118**	8.1%	100.0%
新築工事	22,430	31,079	**34,152**	9.9%	48.7%
リニューアル工事	32,342	33,779	**35,966**	6.5%	51.3%
保健分野※	22,497	25,453	**28,394**	11.6%	40.5%
産業分野※	32,276	39,405	**41,724**	5.9%	59.5%

※保健分野は、オフィスビル、商業施設、病院、学校などにおける人の快適性を支える設備、
産業分野は、工場、データセンター、原子力施設などにおける生産・稼働を支える設備として区分しています。

完成工事高の工事区分・分野別内訳

（百万円）



Copyright © SHIN NIPPON AIR TECHNOLOGIES CO., LTD. All rights reserved.

こちらは、完成工事高の工事区分・分野別の内訳です。
新築工事は 341 億円、前年同期比 9.9％増、リニューアル工事は 359 億円、
前年同期比 6.5％増となりました。大規模な新築工事に加え、既存施設の改修・
更新工事も着実に進み、両区分で増収となりました。
保健分野は、大規模開発案件や既存施設の改修・更新工事の進捗により
11.6％増加しました。産業分野も、半導体関連をはじめとする生産施設や
データセンターなどの工事が進捗し、5.9％増加しました。

2027年3月期 第2四半期　連結業績概要

新日本空調

繰越工事高

【個別】　大規模開発案件や半導体関連をはじめとする生産施設、データセンター、原子力関連工事などの受注が積み上がり、繰越工事高は前年同期を上回りました。

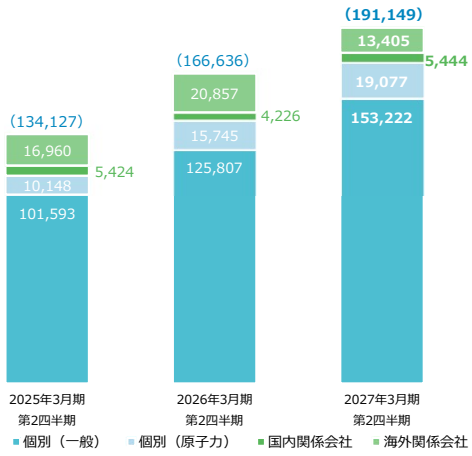
【関係会社】　国内では、保守・メンテナンス工事や電気設備工事の受注の積み上げにより、繰越工事高が増加しました。
海外では、前年同期に受注した大規模案件の工事進捗に伴い、繰越工事高が減少しました。

（百万円）

	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	**2027年3月期 第2四半期**	前年同期比	構成比
個別繰越工事高	111,742	141,553	**172,299**	21.7%	90.1%
（うち 原子力）	10,148	15,745	**19,077**	21.2%	10.0%
関係会社繰越工事高	22,385	25,083	**18,849**	△24.9%	9.9%
国内	5,424	4,226	**5,444**	28.8%	2.8%
海外	16,960	20,857	**13,405**	△35.7%	7.0%
連結繰越工事高	134,127	166,636	**191,149**	14.7%	100.0%

繰越工事高の推移

（百万円）



Copyright © SHIN NIPPON AIR TECHNOLOGIES CO., LTD. All rights reserved.

次に、繰越工事高です。
連結繰越工事高は 1,911 億円、前年同期比 14.7%増となりました。
個別繰越工事高は 1,722 億円、前年同期比 21.7%増となりました。
大規模開発案件、半導体関連をはじめとする生産施設、データセンター、
原子力関連工事などの受注が積み上がっています。
関係会社繰越工事高は 188 億円、前年同期比 24.9%減となりました。
国内は保守・メンテナンス工事や電気設備工事の積み上げで 28.8%増加した
一方、海外は前年同期に受注した大規模案件の進捗に伴い35.7%減少しました。
連結全体では個別の増加が牽引し、将来の売上基盤が拡大しています。

2027年3月期 第2四半期　連結業績概要

新日本空調

繰越工事高内訳

【新築・リニューアル工事比率】
新築工事は、大規模開発案件などの受注の積み上げにより、繰越工事高が前年同期比9.2%増加しました。
リニューアル工事は、既存施設の改修・更新需要を着実に取り込み、同22.1%増加しました。

【保健・産業分野比率】
保健分野は、大規模開発案件や既存施設の改修・更新工事などを確保したものの、繰越工事高は前年同期比2.2%減少しました。
産業分野は、半導体関連をはじめとする生産施設やデータセンターなどの受注が積み上がり、同36.3%増加しました。

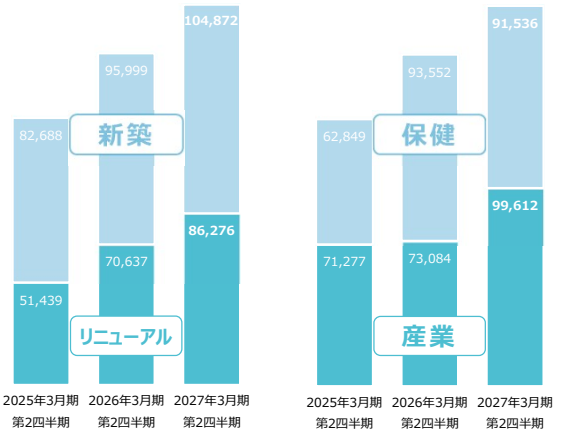
（百万円）

	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	**2027年3月期 第2四半期**	前年同期比	構成比
連結繰越工事高	134,127	166,636	**191,149**	14.7%	100.0%
新築工事	82,688	95,999	**104,872**	9.2%	54.9%
リニューアル工事	51,439	70,637	**86,276**	22.1%	45.1%
保健分野※	62,849	93,552	**91,536**	△2.2%	47.9%
産業分野※	71,277	73,084	**99,612**	36.3%	52.1%

※保健分野は、オフィスビル、商業施設、病院、学校などにおける人の快適性を支える設備、
産業分野は、工場、データセンター、原子力施設などにおける生産・稼働を支える設備として区分しています。

繰越工事高の工事区分・分野別内訳

（百万円）



Copyright © SHIN NIPPON AIR TECHNOLOGIES CO., LTD. All rights reserved.

こちらは、繰越工事高の工事区分・分野別の内訳です。
新築工事は 1,048 億円、前年同期比 9.2％増、リニューアル工事は 862 億円、前年同期比 22.1％増となりました。
既存施設の改修・更新需要を着実に取り込み、リニューアル工事の構成比は 45.1％となりました。
保健分野は前年同期比 2.2％減少しましたが、産業分野は半導体関連をはじめとする生産施設やデータセンターなどの受注積み上げにより 36.3％増加し、996 億円となりました。

2027年3月期 第2四半期　連結業績概要

新日本空調

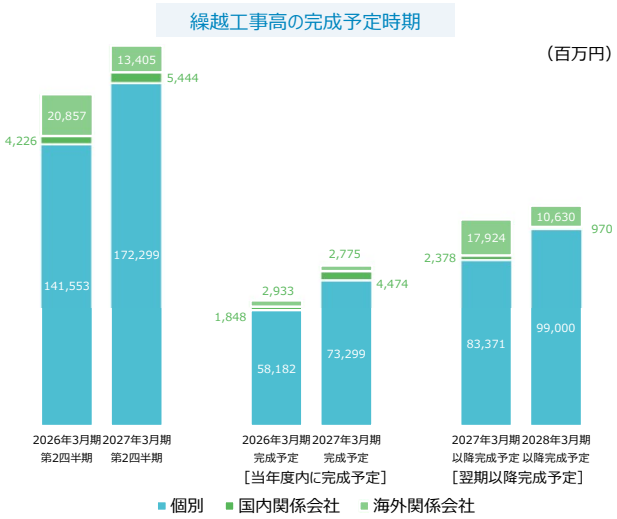
繰越工事高の完成予定時期比較

第2四半期末の繰越工事高は1,911億円となり、前年同期比14.7%増加しました。
完成予定時期別の内訳は、当期中に完成予定の工事分が805億円、翌期以降に完成予定の工事分が1,106億円です。
大規模開発案件や半導体関連をはじめとする生産施設、データセンター、原子力関連工事などの豊富な繰越工事を背景に、
今後も着実な工事進捗を見込んでいます。

（百万円）

	2026年3月期			2027年3月期		
	第2四半期繰越工事高	当期完成予定※	翌期以降完成予定※	第2四半期繰越工事高	当期完成予定	翌期以降完成予定
個別	141,553	58,182	83,371	172,299	73,299	99,000
国内関係会社	4,226	1,848	2,378	5,444	4,474	970
海外関係会社	20,857	2,933	17,924	13,405	2,775	10,630
繰越工事高計	166,636	62,963	103,673	191,149	80,549	110,600

※各金額は、各年度の第２四半期末時点の見込みです。完成予定時期別の繰越工事を示しており、
下期の完成工事高予想とは異なります。



Copyright © SHIN NIPPON AIR TECHNOLOGIES CO., LTD. All rights reserved.

こちらは、第 2 四半期末の繰越工事高を完成予定時期別に示したものです。
1,911 億円の繰越工事高のうち、当期中に完成を予定する工事は 805 億円、
翌期以降に完成を予定する工事は 1,106 億円です。
第2四半期末時点で、案件の完成予定時期別に分類した繰越工事高であり、
下期の完成工事高予想とは異なります。
大規模開発案件、半導体関連をはじめとする生産施設、データセンター、
原子力関連工事など、豊富な繰越工事を確保しています。
下期は、当期中に完成予定の案件に加え、翌期以降に完成する案件の工事進捗も
売り上げに反映されます。
これらの工事を着実に進め、業績予想の達成を目指します。



ここからは、2027 年 3 月期の連結業績見通しについてご説明します。

2027年3月期　連結業績見通し

新日本空調

全体見通し

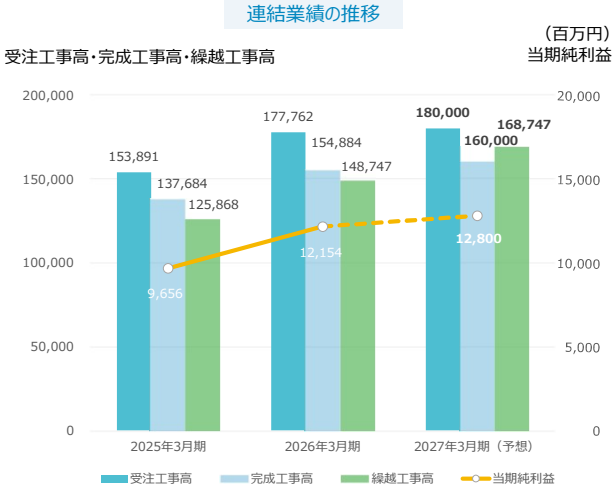
通期の連結業績予想は、2026年5月13日公表値から変更はありません。
上期は賞与関連費用の増加などが影響しましたが、第2四半期単独では収益性が改善しました。
下期は上期を上回る完成工事高と収益性の改善を見込み、引き続き収益管理を徹底します。

（百万円）

	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	**2027年3月期 予想**	前期比 増減	前期比 増減率
受注工事高	153,891	177,762	**180,000**	2,238	1.3%
完成工事高	137,684	154,884	**160,000**	5,116	3.3%
完成工事総利益	22,002	27,190	**29,000**	1,810	6.7%
利益率	16.0%	17.6%	**18.1%**	0.5pt	—
営業利益	11,346	15,128	**16,000**	872	5.8%
利益率	8.2%	9.8%	**10.0%**	0.2pt	—
経常利益	11,976	15,881	**16,500**	619	3.9%
利益率	8.7%	10.3%	**10.3%**	0.0pt	—
当期純利益※	9,656	12,154	**12,800**	646	5.3%
利益率	7.0%	7.8%	**8.0%**	0.2pt	—
繰越工事高	125,868	148,747	**168,747**	20,000	13.4%

※当期純利益は、親会社株主に帰属するものを示しています。

連結業績の推移



Copyright © SHIN NIPPON AIR TECHNOLOGIES CO., LTD. All rights reserved.

通期の連結業績予想は、2026 年 5 月 13 日に公表した数値から
変更していません。
受注工事高は 1,800 億円、完成工事高は 1,600 億円を見込んでいます。
完成工事総利益は 290 億円、営業利益は 160 億円、経常利益は 165 億円、
親会社株主に帰属する当期純利益は 128 億円を見込んでいます。
上期は賞与関連費用の増加などが影響しましたが、第 2 四半期単独では
収益性が改善しました。
下期は上期を上回る完成工事高と収益性の改善を見込み、引き続き収益管理を
徹底します。
期末の繰越工事高は 1,687 億円、前期末比 13.4％増を見込んでおり、
高い水準の受注残を翌期以降の成長につなげます。

2027年3月期　連結業績見通し

新日本空調

受注工事高

【個別】　大規模開発案件や半導体関連をはじめとする生産施設、データセンター、原子力関連工事などの需要を背景に、前期並みの受注工事高を見込んでいます。引き続き、採算性と施工体制を重視した受注活動を推進します。

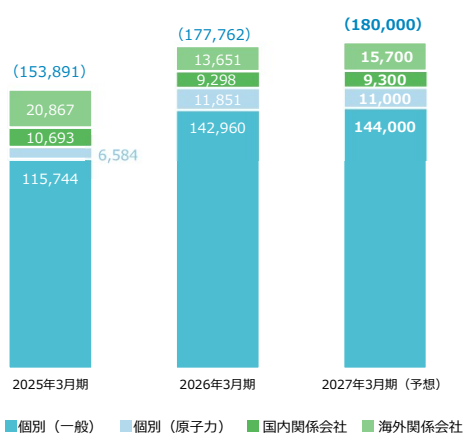
【関係会社】　国内では、保守・メンテナンス工事や電気設備工事、産業施設関連工事を中心に、安定的な受注を見込んでいます。
海外では、事業環境や採算性を慎重に見極めながら、データセンター関連需要などの取り込みを進めます。

（百万円）

	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	**2027年3月期 予想**	前期比	構成比
個別受注工事高	122,329	154,812	**155,000**	0.1%	86.1%
（うち 原子力）	6,584	11,851	**11,000**	△7.2%	6.1%
関係会社受注工事高	31,561	22,950	**25,000**	8.9%	13.9%
国内	10,693	9,298	**9,300**	0.0%	5.2%
海外	20,867	13,651	**15,700**	15.0%	8.7%
連結受注工事高	153,891	177,762	**180,000**	1.3%	100.0%

受注工事高の推移

（百万円）



Copyright © SHIN NIPPON AIR TECHNOLOGIES CO., LTD. All rights reserved.

受注工事高の見通しです。
連結受注工事高は 1,800 億円、前期比 1.3%増を見込んでいます。
個別の受注工事高は 1,550 億円を見込んでいます。大規模開発案件や
半導体関連をはじめとする生産施設、データセンター、原子力関連工事などの
需要を背景に、前期並みの水準を計画しています。
引き続き、採算性と施工体制を重視した受注活動を進めます。
関係会社の受注工事高は 250 億円を見込んでいます。
国内は保守・メンテナンス工事や電気設備工事、産業施設関連工事を中心に
安定的な受注を見込みます。海外は事業環境と採算性を慎重に見極めながら、
データセンター関連需要などを取り込みます。

2027年3月期　連結業績見通し

新日本空調

完成工事高

【個別】　大規模開発案件や半導体関連をはじめとする生産施設、データセンター、原子力関連工事などの進捗により、完成工事高は前期を上回る見込みです。

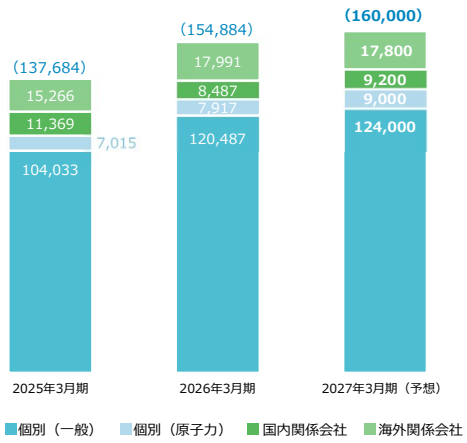
【関係会社】　国内では、保守・メンテナンス工事や電気設備工事、産業施設関連工事を中心に、前期を上回る完成工事高を見込んでいます。
海外では、上期に大規模案件の工事進捗が先行しましたが、下期は案件ごとの工程に応じた進捗を見込んでおり、通期予想を据え置いています。

（百万円）

	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	**2027年3月期 予想**	前期比	構成比
個別完成工事高	111,049	128,404	**133,000**	3.6%	83.1%
（うち 原子力）	7,015	7,917	**9,000**	13.7%	5.6%
関係会社完成工事高	26,635	26,479	**27,000**	2.0%	16.9%
国内	11,369	8,487	**9,200**	8.4%	5.8%
海外	15,266	17,991	**17,800**	△1.1%	11.1%
連結完成工事高	137,684	154,884	**160,000**	3.3%	100.0%

完成工事高の推移

（百万円）



Copyright © SHIN NIPPON AIR TECHNOLOGIES CO., LTD. All rights reserved.

次に、完成工事高の見通しです。
連結完成工事高は 1,600 億円、前期比 3.3%増を見込んでいます。
個別の完成工事高は 1,330 億円を見込んでいます。
大規模開発案件、半導体関連をはじめとする生産施設、データセンター、
原子力関連工事など、豊富な繰越工事を計画どおりに進捗させます。
関係会社の完成工事高は 270 億円を見込んでいます。
国内は保守・メンテナンス工事や電気設備工事、産業施設関連工事を中心に
前期を上回る計画です。
海外は上期に大規模案件の進捗が先行しましたが、下期は案件ごとの工程に
応じた進捗を見込み、通期予想を据え置いています。



続いて、2027 年 3 月期の配当見通しと株主還元についてご説明します。

2027年3月期　配当見通し

新日本空調

株主還元方針

当社グループは、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と位置づけ、安定的かつ継続的な株主還元を基本方針としています。
中期経営計画「SNK Vision 2030 PhaseⅢ」では、DOE（株主資本配当率）5%を下限とし、2029年度まで累進配当を継続するとともに、PhaseⅢ期間中に累計300億円規模の株主還元を計画しています。また、200万株を目安とした自己株式取得を機動的に実施する方針です。
今回、PhaseⅢにおける株主還元方針に基づき、株主還元の拡充と資本効率の向上を目的として、上限100万株・35億円の自己株式の取得を決定しました。

自己株式取得

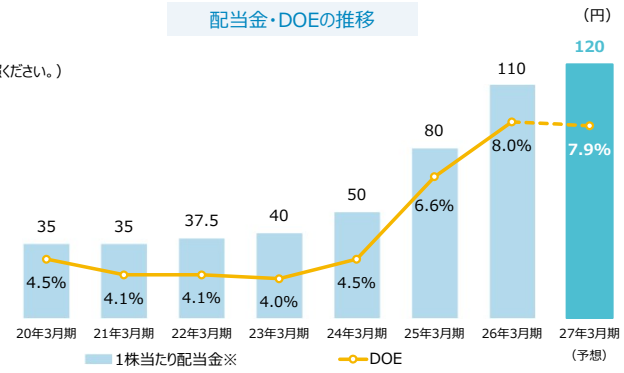
・取得し得る株式の総数：100万株（上限）
（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合2.19%）
・株式の取得価額の総額：35億円（上限）
・取得期間：2026年11月13日～2027年3月31日
・取得方法：東京証券取引所における市場買付
（詳細は、2026年11月12日公表の「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」をご参照ください。）

1株当たり配当金・DOEの推移

2027年3月期は、中間配当60円（確定）、期末配当60円（予定）、年間配当120円を予定しています。予想DOEは7.9%です。

（円）

		2025年3月期実績	2026年3月期実績	**2027年3月期予想**
年間配当金	中間	30	40	**（確定）60**
	期末	50	70	**60**
	合計	80	110	**120**
DOE		6.6%	8.0%	**7.9%**



※ 1株当たり配当金は、2025年1月1日付の株式分割（普通株式1株を2株に分割）を反映し、過年度分を分割後の基準に換算しています。

Copyright © SHIN NIPPON AIR TECHNOLOGIES CO., LTD. All rights reserved.

当社グループは、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と位置づけ、
安定的かつ継続的な株主還元を基本方針としています。
中期経営計画「SNK Vision 2030 PhaseⅢ」では、DOE、すなわち
株主資本配当率 5%を下限とし、2029 年度まで累進配当を継続します。
また、PhaseⅢ期間中に累計 300 億円規模の株主還元を計画し、200 万株を
目安とする自己株式取得を機動的に実施する方針です。
今回、その一環として、100 万株を上限とする自己株式取得を決定しました。
これは、自己株式を除く発行済株式総数の2.19%に相当し、取得価額の総額は
35 億円を上限とします。
取得期間は 2026 年 11 月 13 日から2027 年 3 月 31 日までで、東京証券取引所
における市場買付により実施します。詳細は、2026 年 11 月 12 日公表の
「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」をご参照ください。
配当については、2027 年 3 月期の中間配当を1 株当たり 60 円に
決定しました。期末配当は 60 円、年間配当は 120 円を予定しています。
予想 DOE は 7.9%です。
今後も、成長投資とのバランスを取りながら、配当と自己株式取得を通じて、
持続的な企業価値の向上と株主還元の強化を進めてまいります。



ここからは、中期経営計画「SNK Vision 2030 PhaseⅢ」の進捗状況についてご説明します。2026 年度は PhaseⅢの初年度となります。
本日は、5 つの基本戦略について、上期の主な取り組みと成果、今後の展開を中心にご説明します。



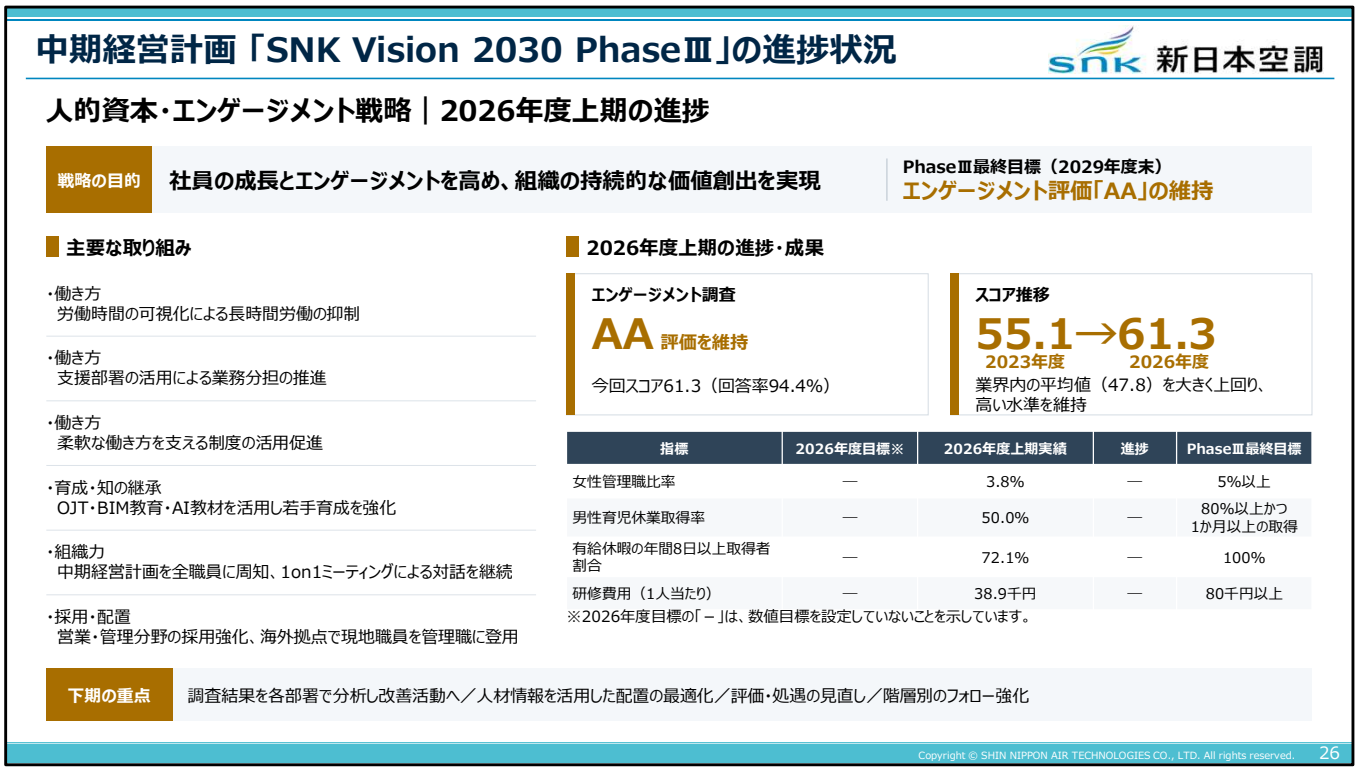
まず、中期経営計画 PhaseⅢの基本戦略についてご説明します。
本計画では、デジタルフロンティア、グリーンイノベーション、人的資本・エンゲージメント、価値共創・収益力、未来事業創造の 5 つを基本戦略に掲げています。
デジタル技術の活用による生産性向上と、脱炭素を中心とした環境価値の創出を推進するとともに、人材の育成や施工体制の強化を通じて、既存事業の競争力を高めてまいります。
さらに、医療や宇宙などの新たな領域にも取り組み、将来の成長基盤の構築を進めています。
これら 5 つの戦略を相互に連携させることで、持続的な成長と企業価値の向上を目指しています。



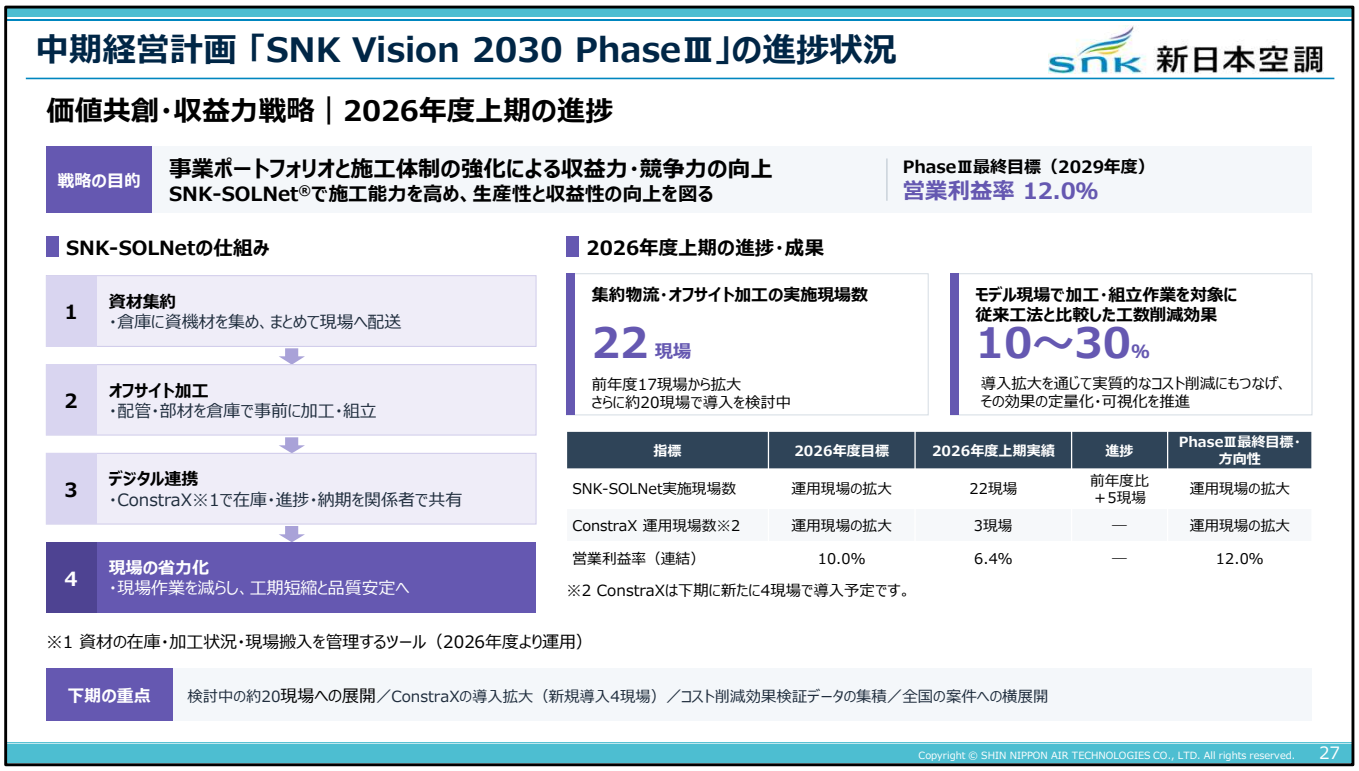
まず、デジタルフロンティア戦略です。
本戦略では、デジタル技術と AI の活用による業務プロセスの変革と、
生産性の向上を目指しています。
上期は、全職員に生成 AI「Copilot」を導入するとともに、社内向け
AI エージェント6 本の提供を開始しました。
また、受注工事高や完成工事高などの経営情報を可視化するダッシュボードに
ついても、3 本を整備し、経営分析の迅速化を進めています。
主要な指標である時間当たり完成工事高は、2025 年度実績を基準として
7.4％増加しました。年度目標の 10％以上の増加に向け、取り組みを
進めています。
さらに、全職員を対象とした Copilot の研修やセキュリティ教育を実施し、
AI を安全かつ効果的に活用するための環境整備にも取り組んでいます。
下期は、AI エージェントの業務への定着やダッシュボードの活用拡大を進め、
実際の業務効率化と生産性向上につなげてまいります。



続いて、グリーンイノベーション戦略です。
本戦略では、省エネルギー・脱炭素への対応と、レジリエンスの強化を通じて、環境価値と収益性の両立を目指しています。
上期の顧客に対する CO_2削減提案量は、CO_2換算で約 2 万 9 千トンとなり、年間目標に対して71％の進捗となりました。
技術開発では、ノンフロン化および耐震性能を考慮した冷凍機の導入展開を進めるとともに、熱源最適制御技術「EnergyQuest」を活用した省エネルギー提案を推進しています。
また、防災・レジリエンス分野では、千葉大学 災害治療学研究所および福島県立医科大学と連携し、原子力災害時の屋内退避施設に関する実証実験映像を公開しました。
また、当社の多用途型簡易クリーンブース DiverCell は、「防災・減災×サステナブル大賞 2026」において優秀賞を受賞しました。
下期は、CO_2削減提案のさらなる積み上げに加え、開発技術の導入拡大やレジリエンス関連技術の事業化に取り組んでまいります。



次に、人的資本・エンゲージメント戦略です。
本戦略では、社員の成長とエンゲージメントを高め、持続的に価値を創出できる組織づくりを進めています。
上期は、労働時間の可視化による長時間労働の抑制や、支援部署を活用した業務分担の推進に取り組みました。また、OJT や BIM 教育、AI 教材などを活用した若手社員の育成強化も進めています。
エンゲージメント調査では、スコアが 61.3 となり、引き続き「AA」評価を維持しました。調査を開始した 2023 年度の 55.1 から着実に改善しており、建設業界の平均を上回る水準となっています。
今後は、調査結果を各部署の改善活動につなげるとともに、人材情報を活用した適切な配置や育成、評価・処遇制度の見直しなどを進めてまいります。



続いて、価値共創・収益力戦略です。
本戦略では、事業ポートフォリオと施工体制の強化を通じて、収益力と競争力の向上を目指しています。その中心的な取り組みの一つが、施工現場の生産性向上を図る「SNK-SOLNet」です。
SNK-SOLNet は、資機材の一括集積、オフサイト加工、デジタル技術による情報連携を組み合わせ、現場作業の省力化を進める仕組みです。
資機材を物流拠点に集約し、配管などの加工・組立を事前に行うことで、現場での作業負担を軽減するとともに、施工品質の安定化を図っています。
上期の実施現場数は 22 現場となり、前年度の 17 現場から拡大しました。
また、モデル現場の加工・組立作業では、従来工法と比較して 10%から 30%の工数削減効果を確認しています。
SNK-SOLNet については、さらに約 20 現場で導入を検討しています。
また、資材管理ツール「ConstraX」は、上期に 3 現場で運用し、資材の在庫や加工状況、現場への搬入情報の共有を進めています。下期は、新たに 4 現場への導入を予定しています。
今後は、導入現場の拡大とともに、工数削減効果を継続的に把握し、実質的なコスト削減につなげていくことで、収益力の向上を図ってまいります。

中期経営計画「SNK Vision 2030 PhaseⅢ」の進捗状況

新日本空調

未来事業創造戦略｜2026年度上期の進捗

戦略の目的　新たな事業・サービスを育て、成長分野での存在感を高める

Phase Ⅲ最終目標（2029年度末まで）
新規テーマの市場投入 5件以上

主要な取り組み

・医療｜実装
DiverCell®（ダイバーセル）、千葉大学医学部附属病院で小児科外来診察室として初の運用実証を開始

・防災｜検証
千葉大学 災害治療学研究所・福島県立医科大学と原子力災害時の屋内退避施設に関する実証実験を実施

・新領域｜宇宙
JAXA「宇宙戦略基金事業」の連携機関として、生命維持装置・環境制御システム（ECLSS）の技術開発に参画

・新領域｜宇宙
宇宙スタートアップElevationSpace社の工場環境の改善に向けた設計を実施

・現場技術｜検証
配管リーク調査や溶接作業のデジタル化を外部企業と共同検証

2026年度上期の進捗・成果

新規テーマの市場投入（PhaseⅢ累計）
1件／5件

TOPIC
DiverCell
既存病室内に陰圧・陽圧対応の診察・隔離スペースを設置


診察室入口

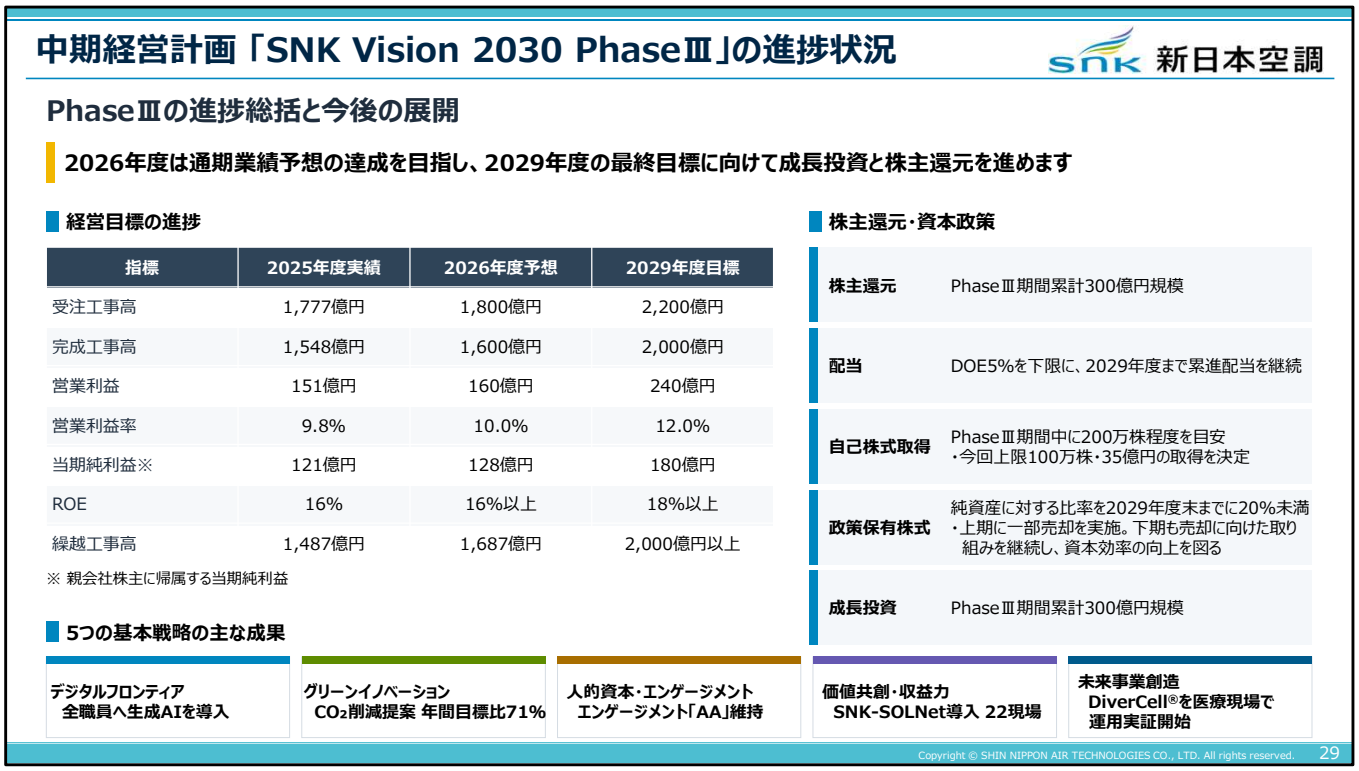

診察室内部

指標	2026年度目標	2026年度上期実績	進捗	PhaseⅢ最終目標
新規テーマの市場投入	–	1件	–	5件以上
外部企業との連携	10件以上	3件	30%	—
論文発表など（産学連携）	30件以上	20件	67%	—
技術提案・ソリューション提供件数	100件以上	184件	184%	—

下期の重点　学会発表／自治体・病院との陽圧化システム改善の協議／外部連携実績の集約と管理方法の整備／事業化の評価・判断プロセスの整備

Copyright © SHIN NIPPON AIR TECHNOLOGIES CO., LTD. All rights reserved.

次に、未来事業創造戦略です。
本戦略では、当社が培ってきた空調・環境制御技術を活用し、新たな事業やサービスの創出に取り組んでいます。
医療分野では、多用途型簡易クリーンブース「DiverCell」を、千葉大学医学部附属病院の小児科外来診察室として活用する運用実証を開始しました。
陰圧・陽圧に対応した診察・隔離スペースとして、医療現場での活用可能性を検証しています。
また、宇宙分野では、JAXA の「宇宙戦略基金事業」において、生命維持装置・環境制御システム（ECLSS）の技術開発に参画しています。
このほか、宇宙関連企業の工場環境改善や、外部企業と連携した施工技術のデジタル化など、新たな領域での取り組みも進めています。
上期は、新規テーマの市場投入が 1 件となったほか、外部企業との連携が 3 件、論文発表などの産学連携が20 件となりました。
また、技術提案・ソリューションの提供数は184 件となり、年間目標１００件以上を上回りました。
今後も、外部機関との連携を深めながら、研究開発から実証、事業化への展開を進め、新たな収益機会の創出を目指してまいります。



最後に、中期経営計画 PhaseⅢの進捗総括と今後の展開について
ご説明します。
2026 年度は PhaseⅢの初年度として、5 つの基本戦略それぞれで具体的な
取り組みを進めています。デジタル分野では生成 AI の全職員への導入、
グリーン分野では CO_2削減提案の拡大、人的資本ではエンゲージメント評価
「AA」の維持など、各戦略で一定の進捗が見られています。
また、SNK-SOLNet の導入拡大やDiverCell の医療現場での運用実証など、
生産性向上と新たな事業領域への展開も進んでいます。
経営目標については、2026 年度の完成工事高 1,600 億円、営業利益 160 億円の
達成を目指し、2029 年度の最終目標である完成工事高 2,000 億円、
営業利益 240 億円に向けて取り組んでまいります。
株主還元については、DOE5%を下限とする累進配当を継続するとともに、
PhaseⅢ期間中に累計 300 億円規模の還元を計画しています。
また、今回 100 万株・35 億円をそれぞれ上限とする自己株式取得を
決定しました。
政策保有株式は、純資産に対する比率を2029年度末までに２０%未満とする
方針です。上期に一部売却を実施しており、下期も売却に向けた取り組みを
継続し、資本効率の向上を図ってまいります。
PhaseⅢでは、4年間で成長投資と株主還元にそれぞれ３００億円規模を
配分する計画です。成長投資と株主還元のバランスを図りながら、
中期経営計画の着実な実行を通じて、持続的な成長と企業価値の向上に
つなげてまいります。以上で、中期経営計画「SNK Vision 2030 PhaseⅢ」の
進捗状況についての説明を終わります。

免責事項

本資料に記載されている将来の業績予想等は、当社グループが現時点で入手可能な情報および合理的と判断する一定の前提に基づいて作成したものです。これらの予想には、さまざまなリスクや不確実性が含まれており、実際の業績は今後の事業環境の変化等により、記載された予想と大きく異なる可能性があります。

また、本資料に記載された情報については、正確性および完全性の確保に努めていますが、その正確性および完全性を保証するものではありません。本資料の利用により生じたいかなる損害についても、当社は一切の責任を負いません。

お問い合わせ先

新日本空調株式会社　経営企画本部　企画・サステナビリティ推進部

TEL：03-3639-2701　メールアドレス：IR_SNK@snk.co.jp

〒103-0007　東京都中央区日本橋浜町二丁目31番1号　浜町センタービル

お問い合わせフォーム
QRコード

Copyright © SHIN NIPPON AIR TECHNOLOGIES CO., LTD. All rights reserved.

当社グループは、今後も、お客様の資産価値の向上と持続可能な 社会の実現に貢献しながら、企業価値の向上を 目指してまいります。
以上で説明を終了します。ご清聴いただき、誠にありがとうございました。